**平成29年度　社会福祉法人　みなみ**

**江戸川ケアセンター　事業計画**

**＜運営方針＞**

　ご利用者様が住み慣れた地域で生活ができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を継続しつつ、ご利用者様の心身の状況や生活環境、希望を踏まえて、訪問介護・通所介護・短期入所介護の３事業をご利用される方々の「自分らしく」の在宅生活が継続できるよう、事業運営を行なっていきます。

　またご利用者様ひとりひとりの人格を尊重し、ご利用者様がそれぞれの役割を感じ、日常生活を送ることができるよう、必要な支援・援助を職員全員が実践します。

**＜重点目標＞**

**１、各事業の活躍と飛躍のための取り組み**

　訪問介護、通所介護、短期入所生活介護の各事業が、地域福祉の拠点となるよう、職員の意識・知識・技術の向上と、おもう力を養えるよう人材育成に力を注ぎ、人事考課制度により努力と成果を証明し、個々が十分に力を発揮できる環境作りを行う。

　毎年のように数名の離職者がいるが、入職した者は定着し、個性を活かし持てる力を発揮しているので、今後も職員の持てる力を十分に活かせるよう働きかける。

**２、人材育成への取り組み**

　職員全員が等しく学べるよう、施設内研修を充実し、施設外研修への参加も促して、自信を持って仕事に打ち込み、笑顔で対応ができる環境を作る。

研修計画の他に、職員会議時にミニ研修や意見交換等の時間を設け、常に学べる状態を維持する。

力をつけてきた職員には役目を与え、次のステップに上がるチャンスを作り、相談員・サービス提供責任者・管理者へ成長できるよう育成も行う。

現管理者もその上を目指せるよう、責任感や指導力、人望がつくよう自ら学び、努力をしていく。

**＜研修計画＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 4月～10月 | 11月～3月 |
| 接遇・マナー | 感染症・救急対応 |
| 倫理・法令遵守、介護保険 | プライバシー保護 |
| 安全衛生について、ＫＹＴ | 事例検討・介護予防 |
| 身体拘束、認知症ケア | ＫＹＴ |

＊内・外部講師により、日程が確定。その他に施設外研修参加。

**３、地域福祉と地域連携**

　社会福祉法人として、近隣の社会福祉法人と連携をとり、地域との関わりを続けるための取り込み継続していく。

○家族(介護者)懇談会の開催

　日々介護に追われて、地域や社会から離れてしまっているご家族に対して、同じ悩みを持つご家族との会話や情報交換の場として開催し、また介護相談や職員との関わりで、精神面的な負担の軽減に努める。

　職員もご家族の生の声を聞く事で、ご利用者様の自宅での状態や環境を学びニーズや発見に繋げ、より良いサービスに繋げる。

　近隣の自治体や熟年相談室、介護事業所と連携を深め、共に新たな発見や提案、情報発信ができる事業所を目指す。

**＜家族懇談会予定＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 6～8月　家族懇談会 | 10～12月　介護者教室 | 1～3月　家族懇談会 |

○ボランティアの充実

　近隣の保育園との交流や学生のインターシップ、介護サポーター、ボランティア団体の受入れを今後も継続し、地域との関わりを持ち続け、「明るく風通しの良い集える江戸川ケアセンター」を目指す。

○葛西地域をつなげる会

　現在通所介護の管理者が事務局として、大きな関わりを持っているので、他事業所との繋がりや連携を継続できるよう、各相談員やサービス提供責任者、職員も参加し、学びながら交流、情報交換、情報発信を行なっていく。

**４、業務効率と時間の使い方、管理の強化**

　業務効率を上げるため計画性を持ち、決めた時間内に業務を終わらせられるよう、管理者が個々の力を把握し、適切な指示を出しつつ、考える力もつくようにアドバイザーの役目も行う。

　職員全員が業務効率向上の意識が持てるよう、管理者・相談員・サービス提供責任者が見本となるよう業務を行う。

　また管理者が個々の能力を把握した上で、正しく考課・配置をし、効率の良い業務になるよう努める。

　管理者・相談員・サービス提供責任者は常に数値目標・稼働率・売上を意識し、達成出来るよう職員の士気を高める事に努める。

**５、離職率の低い、明るい職場環境を作る**

　良い仕事・良いケアをする為にも、職員が笑顔で元気に働けるよう、委員会活動で職場環境を整え、部署を超えたコミュニケーションが取れるようにし、人事考課制度を活用して、意識・能力向上と業務効率をあげながら、正しい評価のもと職員の働く満足度が上がるように努める。

　また管理者は、職員ひとりひとりの能力にあった役割や役目を把握・指示し、仕事への充実感・達成感を得られるよう導く。

　計画性を持ち、業務効率を上げ、残業を減らすことで、プライベートの充実を図り、メリハリのある生活ができるよう導き、離職者０名を目指す。